

---

# 豊ヶ丘複合施設 検討の進捗について

- ①豊ヶ丘複合施設整備方針共同検討会実施報告
- ②オープンハウス実施報告

# 1 これまでの取り組み

平成25年11月

行動プログラム策定

平成28年11月

行動プログラム更新

平成29年8月～平成31年2月

市民ミーティング(全7回)

令和元年5月～令和元年10月

市民ワークショップ(全6回)

令和2年1月～2月

オープンハウス

令和2年11月～令和4年6月

市民経過報告会①～③

令和2年12月～令和3年8月

庁内検討会

令和4年7月～10月

整備方針共同検討会①～③

令和4年12月12日

総務常任委員会報告(前回報告)

令和4年12月18日

第4回共同検討会

令和5年2月19日

第5回共同検討会

令和5年3月29日、30日、4月1日、2日

オープンハウス

(本日報告事項)

## 2-1 豊ヶ丘複合施設整備方針共同検討会

### (1) 概要

ワークショップなどで集めた多くの市民意見をベースに、市の考え方を踏まえ、施設整備の方向性や施設の機能などについて、これまでのワークショップ参加者に新たな参加者を加え、具体的な整備方針案を検討する共同検討会を令和4年7月から令和5年2月まで5回実施した。

### (2) 結果

豊ヶ丘複合施設整備方針(案)を共同検討会を通じて検討した。これまでの検討経過や市の基本的な考え方を踏まえ、将来に向けた施設像や必要な機能について整理するとともに、施設整備の方法については、改修・建替えの両論を併記し議論を行った。

### (3) オープンハウス実施へ

共同検討会の議論を踏まえ、これまでの経緯や整備方針(案)について、幅広く地域の方にお知らせするとともに、さらに意見等を聞くため「オープンハウス」を開催した。



▲12月18日 共同検討会



▲2月19日 共同検討会



▲オープンハウス

## 2-2 豊ヶ丘複合施設整備方針共同検討会 各回まとめ

開催回	開催日時	開催場所	参加者数	検討内容の概要
第1回	令和4年7月31日(日) 13時30分～15時30分	豊ヶ丘地区 市民ホール 第一会議室	27人	中間まとめの内容の共有 検討する「整備方針」の構成案(内容の骨子)や今後の進め方等について意見交換
第2回	令和4年8月28日(日) 10時00分～12時00分		22人	検討の目的や市の基本的な考え方、検討したい内容の共有 将来に向けた施設像(コンセプト)や必要な空間について意見交換
第3回	令和4年10月30日(日) 10時00分～12時00分		25人	将来に向けた施設像や必要な空間を・機能について検討・意見交換 施設整備方法(改修・建替え)のメリット・デメリットの洗い出し
第4回	令和4年12月18日(日) 13時30分～15時30分		17人	将来に向けた施設像と必要な空間・機能について検討・意見交換 施設整備方法(改修・建替え)についての補足説明と意見交換
第5回	令和5年2月19日(日) 10時00分～12時00分		20人	これまでの質問や意見への回答、必要な空間・機能や施設整備方法(改修・建替え)について補足説明と意見交換 整備方針全体について意見交換

## 3-1 オープンハウス

### (1) 概要

共同検討会にて市民とともに検討してきた豊ヶ丘複合施設整備方針(案)やこれまでの経緯について、検討会参加者だけではなく、地域の方に広くお知らせし、意見を伺うため実施。

当日は、東京都立大饗庭研究室のスタッフとともにオープンハウスを見に来られた方や、通りがかった方などに声を掛け、パネルや資料を配布しながら説明を行い、将来の施設像や施設の整備方法などについて、これまで豊ヶ丘複合施設のことを知らなかった方も含めて、ご意見を伺った。

### (2) 開催日時

令和5年3月29日(水)、3月30日(木)、4月1日(土)、  
4月2日(日) 10時00分～15時00分  
豊ヶ丘図書館前遊歩道にて

### (3) 来場者・意見数

来場者数累計 :196名 (4日間累計)  
意見を聞き取った数: 89件 (4日間累計+後日)

▼各日ごとの立ち寄った市民及び意見の数は以下の表のとおり  
※ロゴフォーム・メールは開催日以降に意見を提出した方

	来場者数			意見の数
	全体	資料配布	未配布	
3/29(水)	62	47	15	21
3/30(木)	39	33	6	22
4/1(土)	60	31	29	30
4/2(日)	35	9	26	12
ロゴフォーム・メール				4
合計	196	120	76	89



## 3-2 オープンハウス

### (4) 聞き取り内容と意見の傾向

#### Q1.施設の将来像について

子どもや高齢者など多世代が集まれる複合施設を望む声が聞かれた。

#### Q2.施設に必要な空間と機能について

貸室、子ども・高齢者の居場所、図書館、飲食のできるフリースペースを求める声が聞かれた。

#### Q3.施設の整備方法について(改修・建替え)

入り口を1つに、コストを踏まえた検討を、可変性を備えた施設とすること、などは複数意見があった。

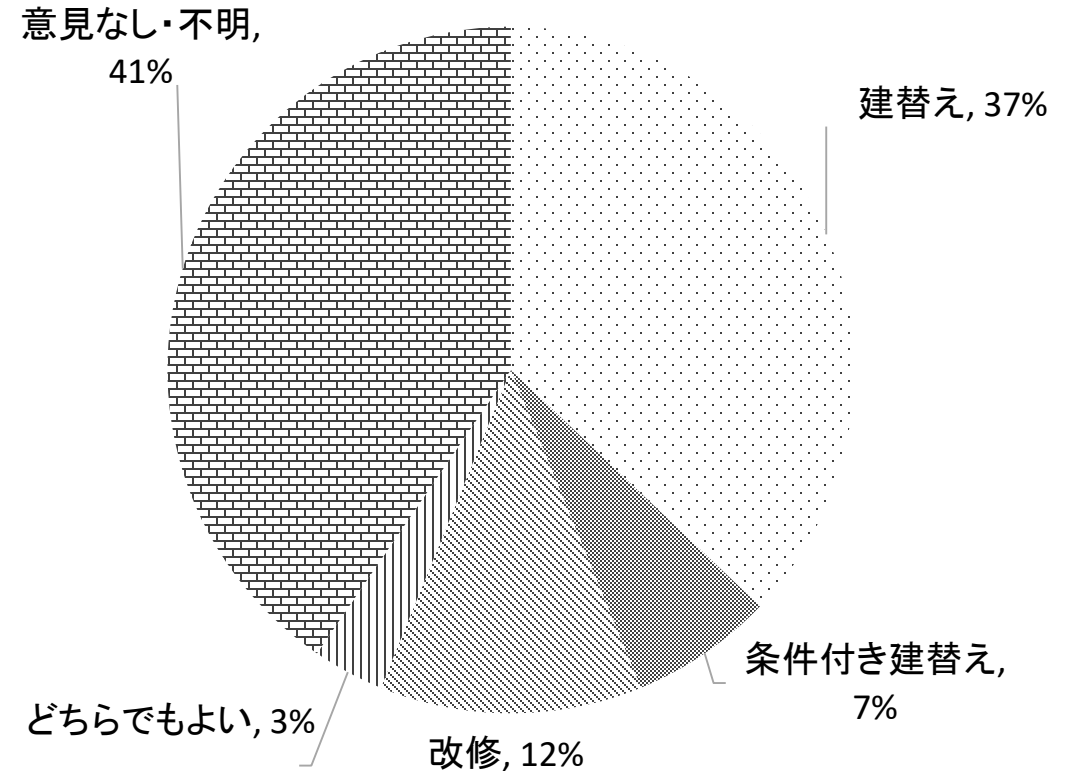
改修・建替えの意見については、建替えの意見が多かった。  
(スライド右側の「(2)施設の整備方法について」を参照)

#### Q4.その他

多世代の交流を求める声がある反面、高齢世代、子育て世代双方から子ども専用のスペースが必要との意見があった。

### (5) 施設の整備方法について(改修・建替え)

▼ 聞き取りをしたなかで、施設の整備方法の記載(改修・建替え)の割合



※「条件付き建替え」は、面積が大幅に減らないのであれば、貸室が残るのであれば、などの条件を付して建替えに賛成の意見

※聞き取り及びアンケートへの回答の中で、建替え、改修に触れた意見をカウントしており、具体的に建替え、改修に言及していない発言は意見なし・不明としてカウント

# 3-3 オープンハウス

## (6) 意見の概要(傾向別)

### Q1.施設の将来像について

○老人も子供もというのがいい ○未来の子供たちの施設にしてほしい

### Q2.施設に必要な空間と機能について

#### 【図書館について】

○図書館は残してほしい。飲み物を飲めるスペースがあるとゆっくり過ごせる。  
○図書館は拡張してほしい。貝取こぶし館でできることは豊ヶ丘でやる必要がない。  
○図書館は中央図書館ができればニーズも変わる。廃止は酷かもしれないが、縮小を考えるべき。その分は児童館や老人に分けてほしい。

#### 【児童館について】

○日ごろから親子で児童館にお世話になっています。貝取、豊ヶ丘地区は子供が少ないのは事実ですが児童館は毎日賑わっています。貝取には児童館がありません。豊ヶ丘までなくなってしまうたら居場所がなくなってしまう。ぜひ児童館利用者の声や、地元小学校の親御さんの声を聞いて、子供の居場所をつくってください。

○児童館を使っているが、お母さん同士が交流できる場が欲しい。  
○子どもが勉強できるスペースがあるといい。子育てを地域でできる空間を作してほしい。  
○民間学童が乱立する中で市が運営する児童館を見直すのは当然。

#### 【地区市民ホール・老人福祉館について】

○老人福祉センターも優先利用が無くなって大変だけど甘えてもいけないし必要なことだと思う。ただ貸室は残してほしい。  
○私は60代後半ですが、60歳以上の方々を区切って使用される老人福祉館ではなく他世代も混ざったフリースペースで時間を過ごしたいです。60歳以上のイベント等は、貸室を利用して行えばよいと思います。  
○老人福祉館(風呂)を使っている。風呂がなくなるのは仕方がないかもしれないが、無料の貸室は残してほしい。  
○高齢者を追い出さないように貸室の仕組みを工夫してほしい。  
○老人のコミュニティとしての機能は必要。コスト削減について、将来に向けてどうして行くつもりだからと、ちゃんと説明してほしい。それなら納得できるのでは。  
○老人福祉館は、高齢者率40%の地域で、老人福祉館を廃止するというのは無謀としか言いようがない。そして、その後の対策が全くされていない。多世代にわたる云々は意味をなさない。ハードウェアを無くすのなら、ソフトウェアで、市から、高齢者担当の係官の常住を約束するとか、高齢者用のプログラムを提案するとか、善後策をだせば、許容する人も増えるのではないかと。

### 【その他(施設全体、フリースペース等について)】

○複合的な施設がいい。コスト削減の必要性は理解するので、機能の質を落とさないようにしてほしい。質が落ちなければ面積はこだわらない。  
○フリースペースはいいと思う。コーヒーや軽食(永山のれすのような)があるといい。  
○「図書館+児童館+住民の居場所となるフリースペース」の施設と考えた方が良くと思う。子供用とか老人用とか、法律や役所の分担と予算配分に振り回されて、小間切れの法律上の面積の集合体にならない様に注意して、全世代の利用がフラットに出来るようにする。例えば、図書館の中でも「子供用のスペース」が分けて作られているが、必要ない。老人の横に子供が本を読んでも問題ないし、かえって好ましいことと思う。

### Q3.施設の整備方法について(改修・建替え)

#### 【改修】

○面積縮小について、経費節約のために面積を3分の2にというのは乱暴だ。改修と同じ程度の経費での建替え面積を提案するのはどうだろう。当座の経費は同じでも、将来、10年、20年先のことを考えれば、補修費用の大幅な軽減が見込まれる。長い目で見れば、経費節約という目的は達成されるのではないかと。  
○図書館・2階の学習室とコミュニティ拠点の機能は、一定の気密性も保たれるべきで、面積を縮減した建て替え案には疑問が残る。平屋建てとする方向でも面積は最も検討すべきと考える。

#### 【建替え】

○建替えがいい。コストも抑えられてきれいになって質も下がらないのであれば、反対する理由がない。  
○施設が無くなるのかと思ったがそうではなく安心した。施設や貸室は残してほしいが、建て替えでもいいと思う。  
○将来の維持管理も考えると建替えがいいのではないかと。  
○今の施設は入り口がどこにあるのかわかりづらく閉鎖的。年寄が市の情報を得られる施設にしてほしい。散歩をしていて、ふらっと立ち寄って飲み物をとれるスペースがあるといい。将来に向けて柔軟性のある施設がいい。  
○平屋でよいと思います。都心又は駅周辺でない豊ヶ丘ならでは実現できることと思います。  
○建替えて避難所など様々な用途で利用できるようにしてほしい。

### Q4.その他

○子どもをつれて家族で参加できるイベントがあるといい。  
○少子高齢化への対応を視野に(明確なコスト評価が必要)。多目的に活用できるスペースとなるよう、各地の成功事例を参考にしてほしい。特に若い人の意見を反映することが必要。  
○使用料を取らないと厳しいと思う。300円~500円とか、こぶし館もっているし。八角堂ができて、カフェができてよかったなと思った。コーヒーでも飲みながらゆっくりできる施設になるといい。  
○高齢者も少しの負担は当たり前。ある程度の団体を作れたら減免するとかの工夫はあってもいいかもしれない。そうすれば輪も広がる。クールシェアの観点でもいい。

# 4 今後の進め方

## (1) 今後の流れ

- ・共同検討会やオープンハウス等これまでの取り組みを踏まえた整備方針案の取りまとめ
- ・整備方針案 地域説明会
- ・整備方針 決定

## (2) 行動プログラム(令和5年2月時点修正)における位置づけ

- ・今後の取り組み内容  
「大規模改修時期まで、現機能を維持しつつ存続します。それまでの間、市民や利用者等と対話を行いながら、今後の施設のあり方について検討していきます。」

- ・取り組みスケジュール

行動P掲載範囲 ↓

R4 (2022)	R5 (2023)
市民、利用者等との対話、検討	
方針決定	

